

事業番号	15 04 11	事業改善シート(25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援学校就労支援総合事業			担当課	教育委員会事務局		
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	特別支援教育課		
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 5 すべての子どもの学びを保障する支援		E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp		
				実施期間	不明 ~		

1 事業の概要

目指す姿	特別支援学校生徒の地域での社会自立や職業自立を進めるために、社会生活や職業生活に必要な能力や態度を育てるとともに、将来の就労につながる現場実習先事業所数の拡大、職場体験実習の推進を図りながら、適切な進路指導を目指す。 成果目標：一般企業等産業現場における実習を行った生徒が実際に一般就労した割合 62.8%(H23)→65.0%(H29) ：高等部卒業生総数の内、一般企業等産業現場における実習を行った生徒数の割合 34.4%(H23)→40.0%(H29)					
現状	○経済状況の悪化による求人倍率の低下、単純組立作業等の業種の減少等、就職を取り巻く環境の悪化による就職者数の減少。 ：高等部卒業生(本科)就職者数 73名、就職率 18.5%(H24) ○高等部生徒の求める進路と一般企業が求める仕事内容の差が大きく、現場実習は可能でも就職に結びつかないケースが多い。					
県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】 特別支援学校高等部学習指導要領				
	県民との協働による実施：可能					
事業内容	① 成果目標(H25)					
	○一般企業等産業現場における実習を行った生徒が実際に一般就労した割合 63.0% ：H23年度実績とH29目標との差をH26までは0.2%引上げ、H27から0.6%の引上げ ○高等部卒業生総数の内、一般企業等産業現場における実習を行った生徒数の割合 35.0% ：H23年度実績とH29目標との差を段階的に引上げ					
	② 事業内容 (単位：千円)					
		項目	実施方法	H25事業実績		H26
				(当初)	(決算)	(当初)
	関係機関と連携した産業現場等における実習先の拡充と新たな雇用の場の創出	直接	・障害者職域拡大アドバイザー、ハローワークとの連携 ・特別支援学校早期訓練コースの活用			
	企業への理解啓発の推進	直接	・県経営者協会、中小企業中央会等との連携 ・長野労働局・職業安定所と連携した就労セミナーの開催			
	産業現場等における実習事業	直接	・民間企業等の協力を得て、現場実習の実施 高等部生徒の現場実習(1年後期、2・3年前期・後期)		3,402	
	松本ろう学校における職業教育の推進	直接	・聴覚障害者が専門的知識・技能を身につけて職業自立、社会自立するため、専攻科に実習用パソコン等を配置し、職業教育を実施		1,840	
			合計	5,242	4,865	5,294

事業コスト	区 分(単位：千円)	23年度	24年度	25年度	26年度
	前年度繰越				
	当初予算	26,841	18,572	5,242	5,294
	補正予算	-1,494			
	合計(A)	25,347	18,572	5,242	5,294
	国庫支出金				
	県 債				
	その他(繰入金)	21,270	13,330		
	一般財源	4,077	5,242	5,242	5,294
	決算額(B)	24,407	15,070	4,865	
概算人件費	職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
	概算人件費(C)	2,477	2,477	2,477	2,477
	概算事業費(B(A)+C)	26,884	17,547	7,342	7,771

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
一般企業等産業現場における実習を行った生徒が実際に一般就労した割合	57.00%	63.40%	58.20%	未達成	60.20%
高等部卒業生総数の内、一般企業等産業現場における実習を行った生徒数の割合	32.38%	35.50%	35.54%	達成	—

目標に対する成果の状況	○産業現場等における実習では一般企業での実習も増加した(H24年128人→H25年134人)が、生徒の希望と企業の要望とのすり合わせが難しく、就労に結びつかないこともあった。
-------------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのよう にしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない	<input type="checkbox"/> 事業を見直して実施	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	○県経営者協会や中小企業中央会等の方々に直接、特別支援学校をみてもらったり、生徒の様子を知ってもらったりする機会を設け、産業現場等における実習の拡大につなげていく。 ○商工労働部や技術専門学校との連携を強化し、進路指導主事と直接話す機会を設け、特別支援学校早期訓練を積極的に活用するようにしていく。		